

総務委員会資料

◎報告事項

○令和4年度島根県政世論調査について

(広聴広報課) P 1

令和5年1月13日

政策企画局

令和4年度島根県政世論調査について

島根県政世論調査は、県民の意識を把握し今後の県政推進のための基礎資料とするため、昭和47年度から実施している。

1 調査のあらまし

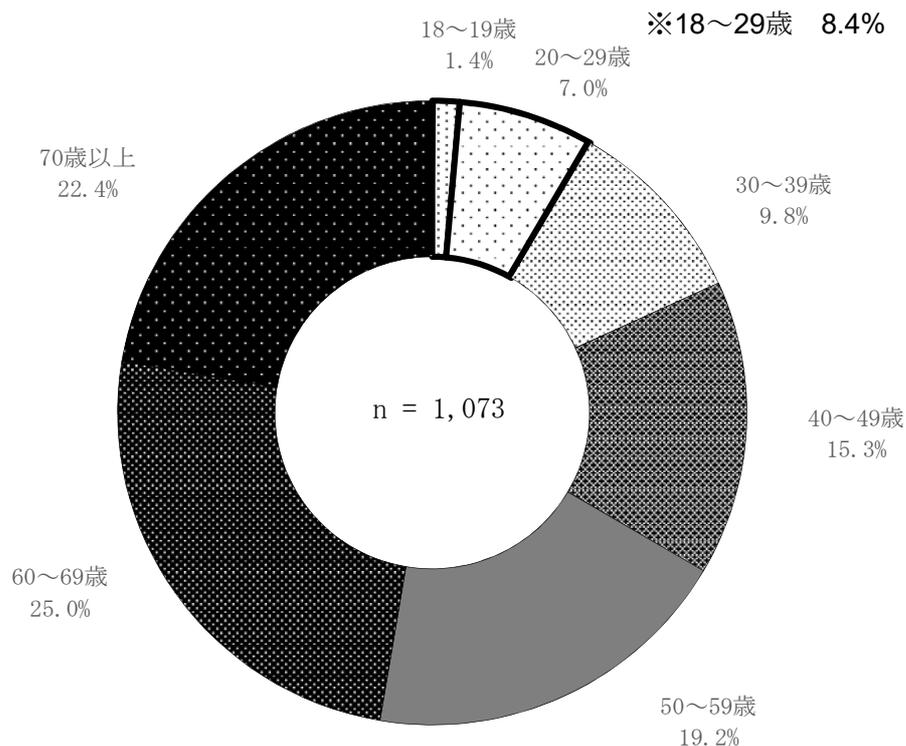
(1) 調査設計

- ① 調査地域：島根県全域
- ② 調査対象：県内在住の満18歳以上の男女
- ③ 標本数：2,000
- ④ 抽出方法：層化無作為抽出法
- ⑤ 調査方法：郵送配布、郵送回収またはインターネットによる回答
- ⑥ 調査時期：令和4年8月

(2) 回収結果

回収数(率)：1,088(54.4%)

回答者年齢構成(年齢について無回答を除いた集計)



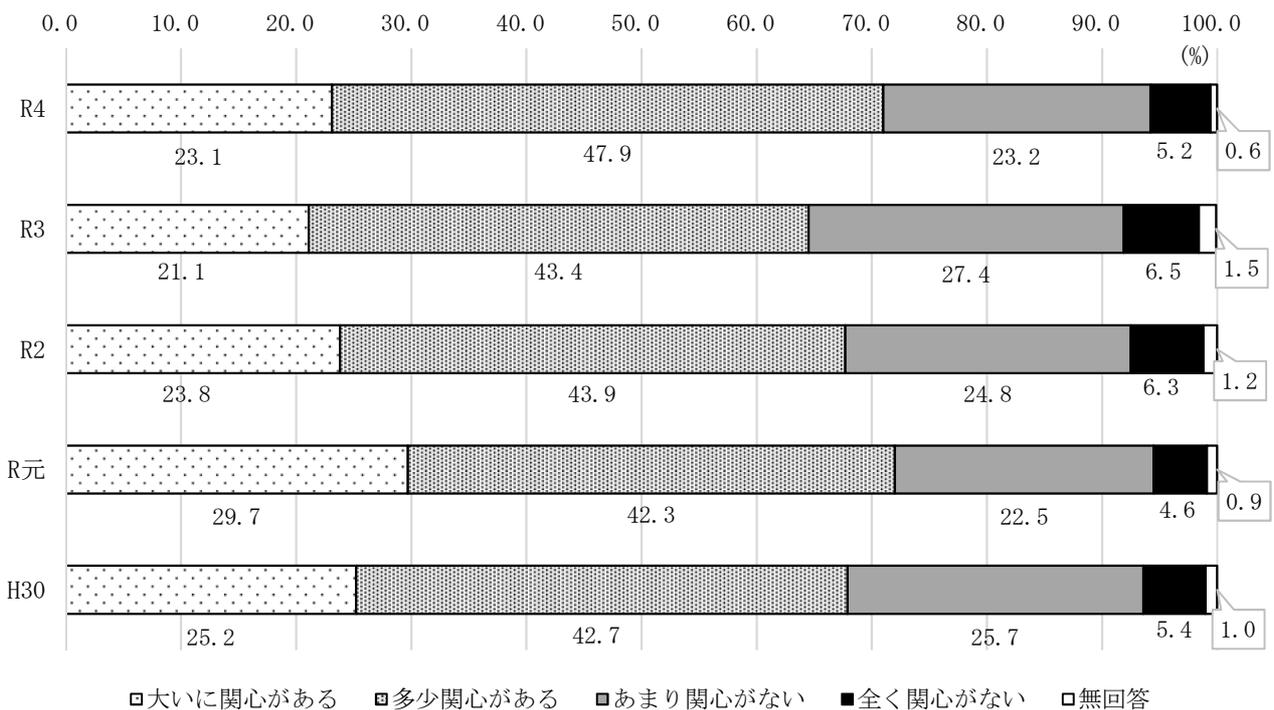
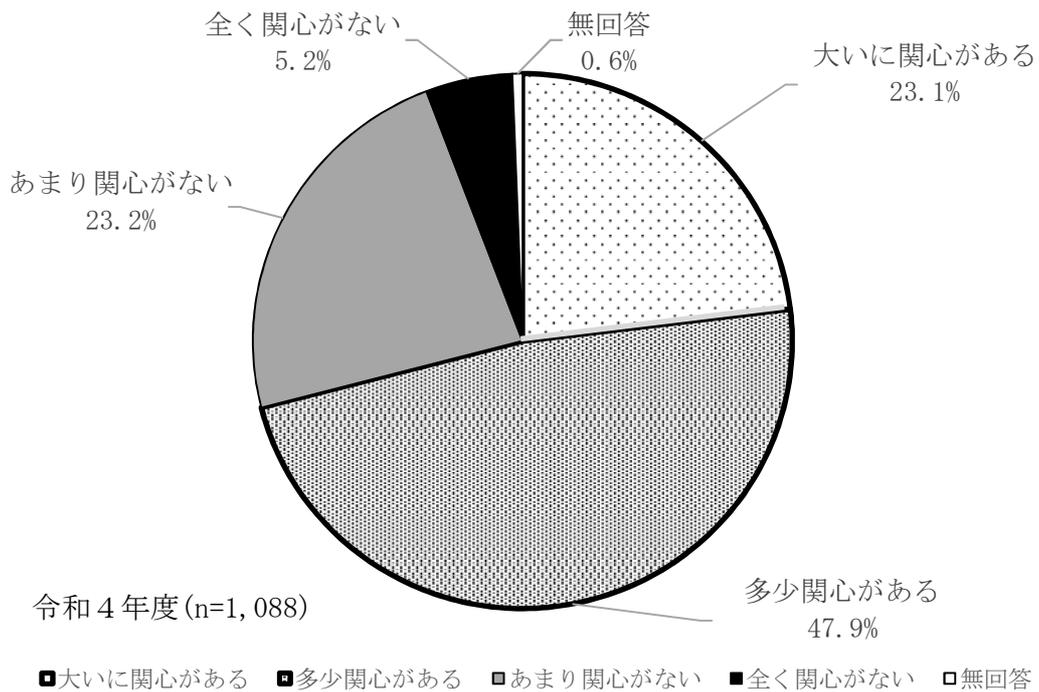
2 主な調査結果

(1) 「竹島」について

問11 あなたは、竹島をめぐる問題に関心がありますか。(P.35)

『関心がある(計)』が71.0%

- ・「大いに関心がある」(23.1%)と「多少関心がある」(47.9%)の合計
- ・昨年度(64.5%)から約7ポイント増加

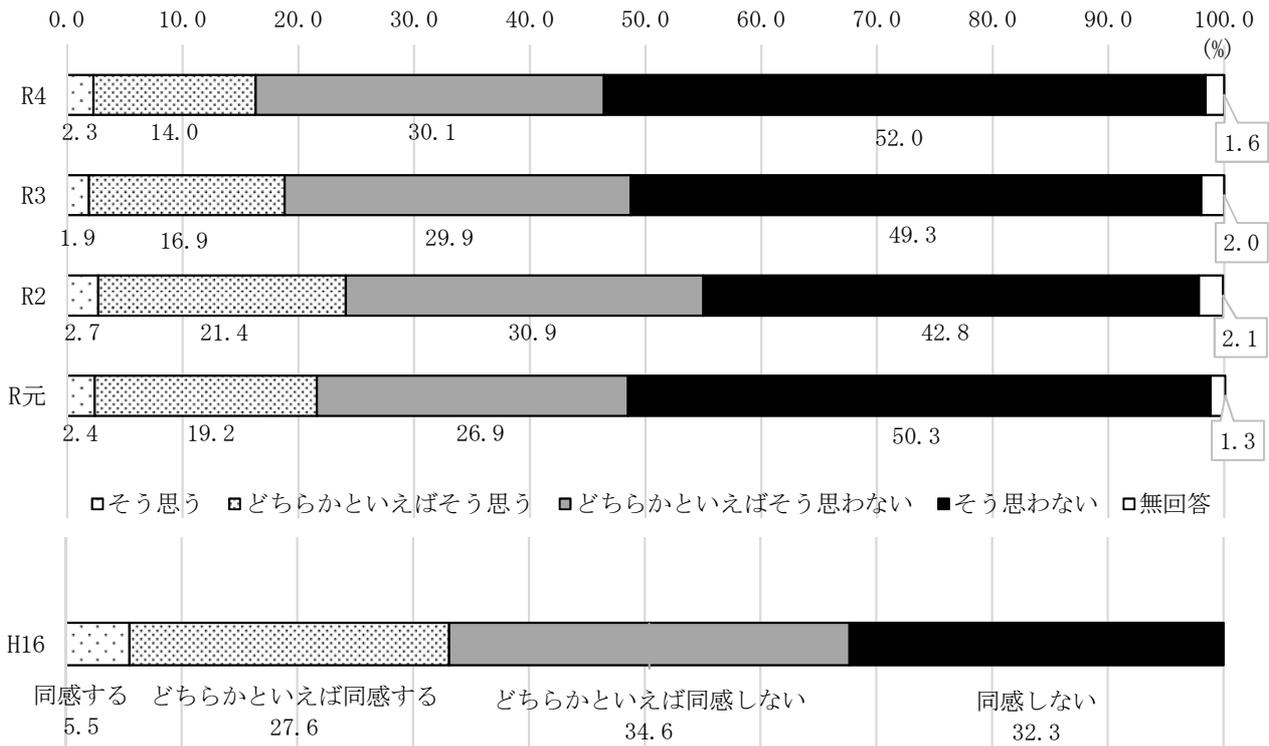


(2) 男女共同参画社会への理解

問27 「男は外で働き、女は家庭を守る」というような、固定的な性別による役割分担の考え方について、あなたはどのように思いますか。(P.85)

『そう思わない(計)』が82.1%

- ・「そう思わない」(52.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(30.1%)の合計
- ・昨年度(79.2%)から約3ポイント、平成16年度の「同感しない」(32.3%)と「どちらかといえば同感しない」(34.6%)の合計(66.9%)から約15ポイントの増加

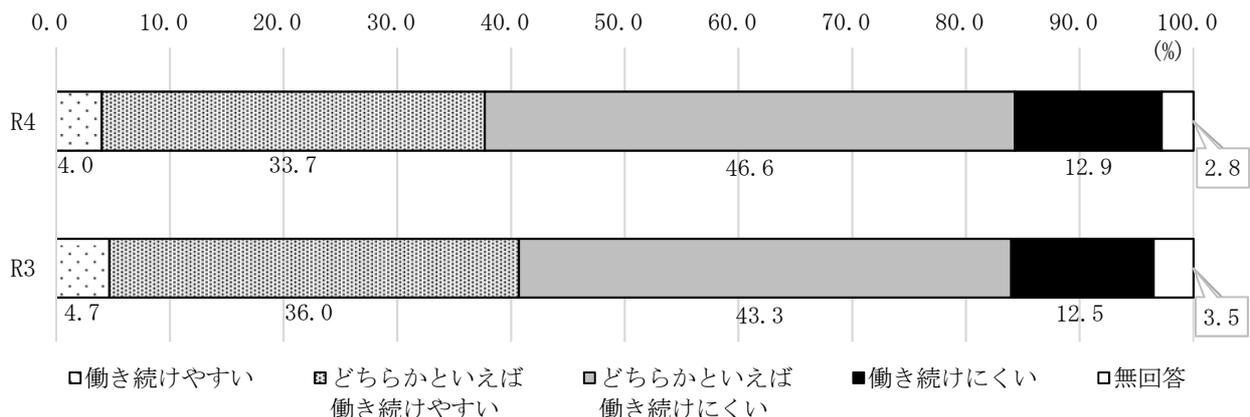


(3) 女性が働き続けていくことの現在の状況

問28 一般的に、女性が働き続けていくことについて、現在どのような状況にあると思いますか。(P.87)

『働き続けやすい(計)』が37.7%

- ・「働き続けやすい」(4.0%)と「どちらかといえば働き続けやすい」(33.7%)の合計
- ・昨年度(40.7%)から3ポイント減少



(4) 島根県の政策・施策について <1> 政策・施策に対する満足度

問14 『島根創生計画』に掲げた次の「21項目の政策」それぞれについて、あなたは、現在、どのくらい満足していますか。(①～⑳までの各政策について、「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」から1つ選択) (P.42～54)

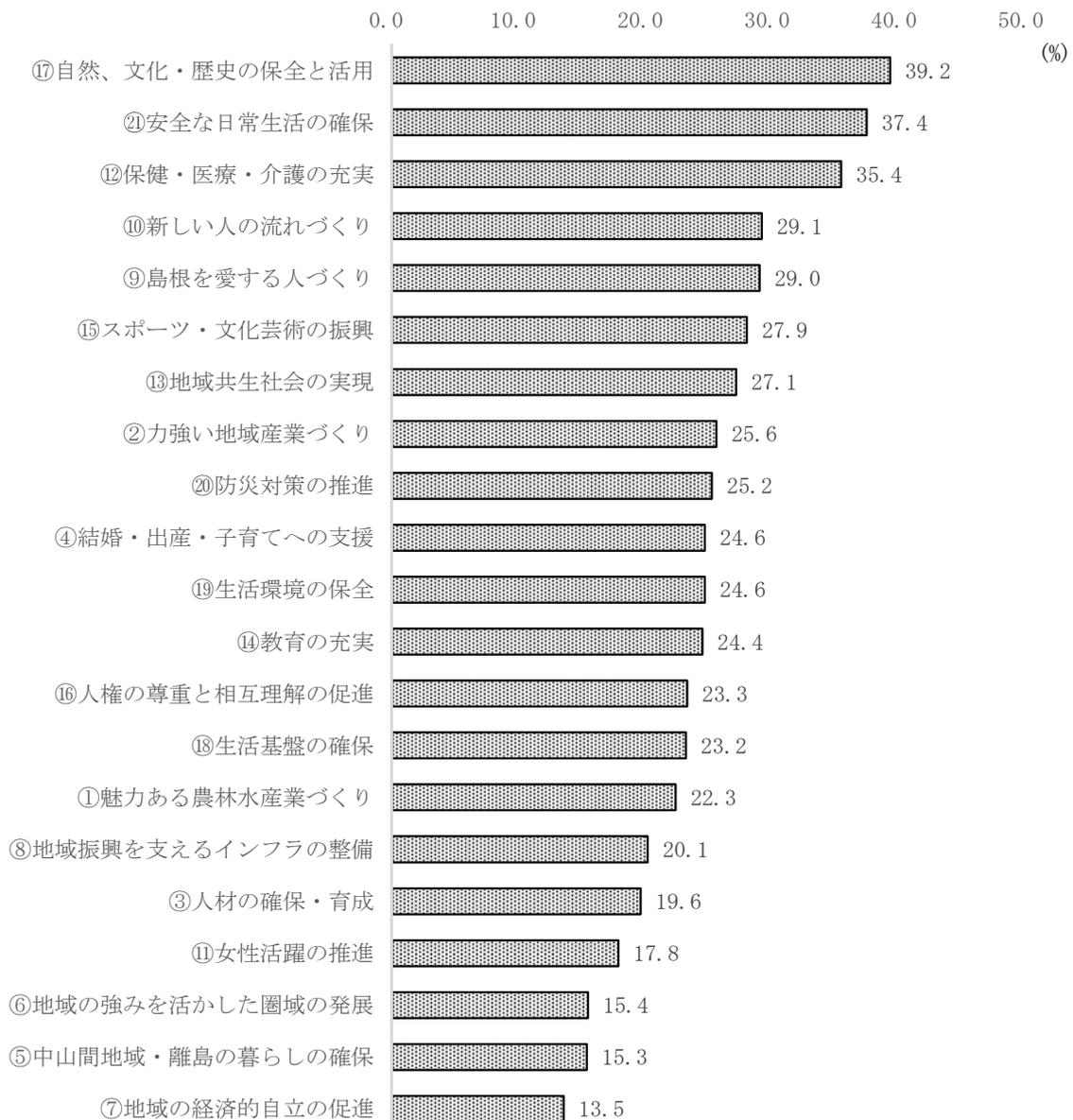
『満足している(計)』の割合が高い項目は、「⑰自然、文化・歴史の保全と活用」(39.2%)、「㉑安全な日常生活の確保」(37.4%)、「⑫保健・医療・介護の充実」(35.4%)

・『満足している(計)』は、「満足」と「やや満足」の合計

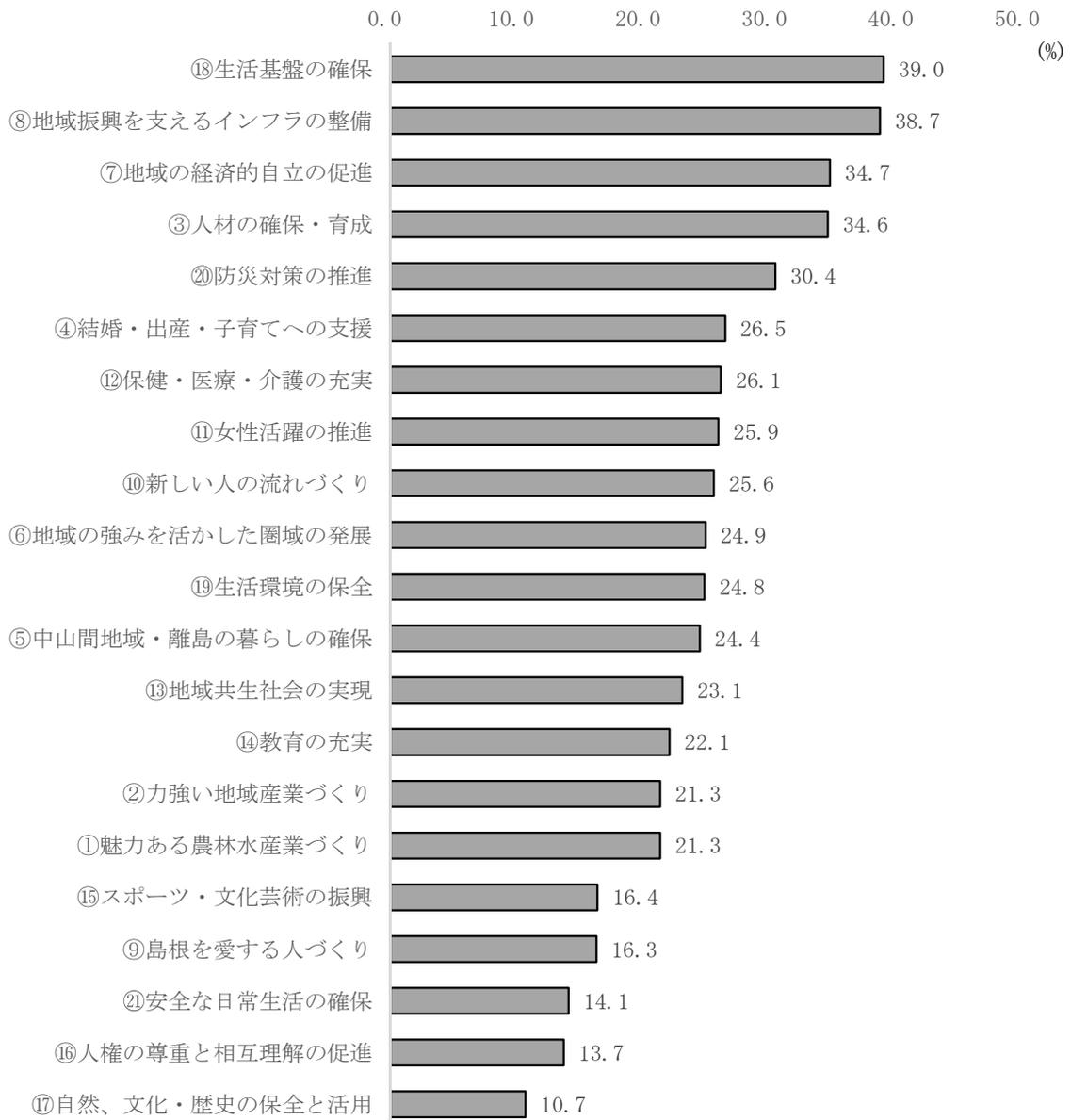
『満足していない(計)』の割合が高い項目は、「⑱生活基盤の確保」(39.0%)、「⑧地域振興を支えるインフラの整備」(38.7%)、「⑦地域の経済的自立の促進」(34.7%)

・『満足していない(計)』は、「やや不満」と「不満」の合計

満足している(計)の割合(%)



満足していない（計）の割合（％）

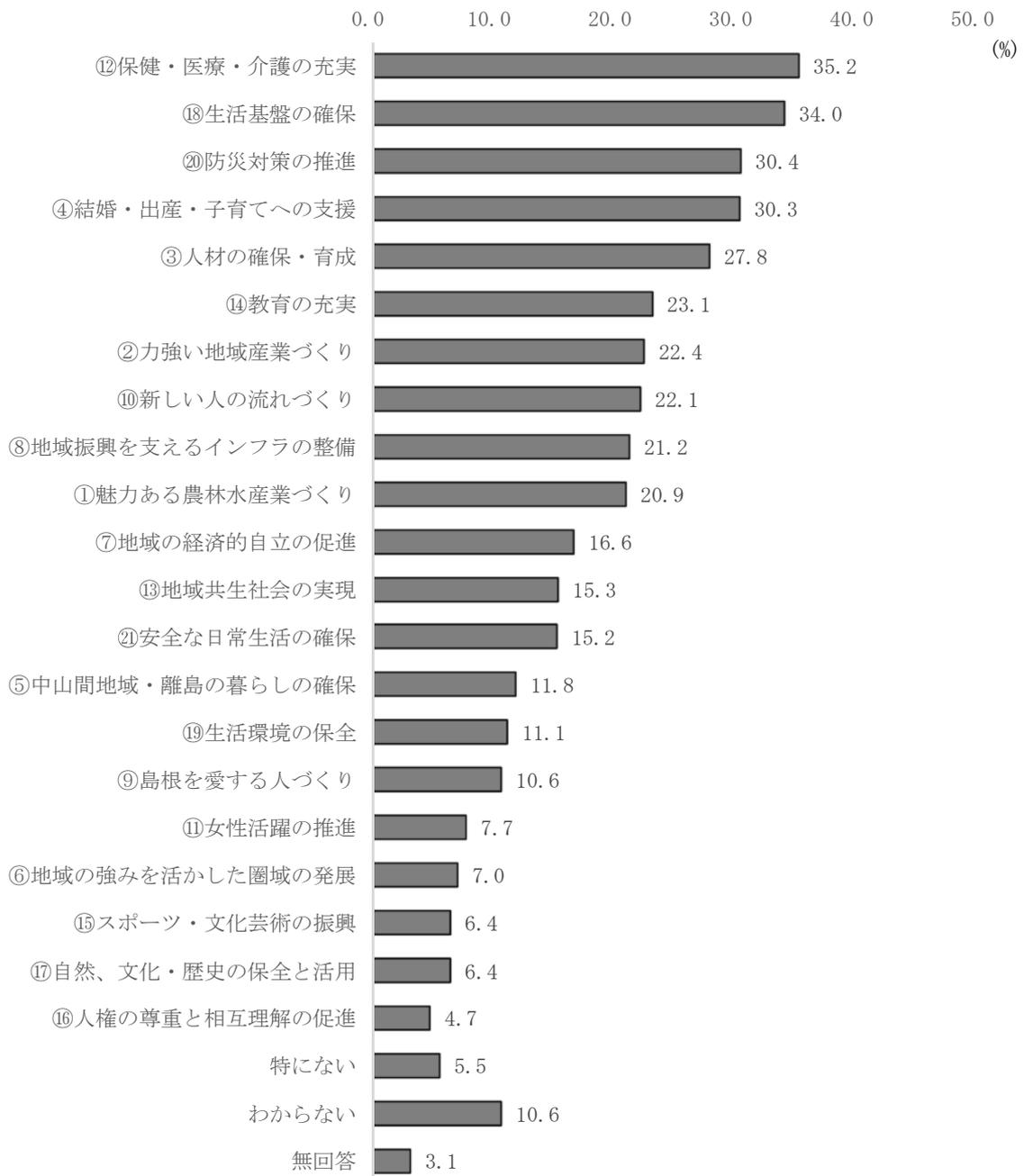


(4) 島根県の政策・施策について <2> 今後、もっと力を入れるべき政策

問15 問14の設問で掲げた①～㉑の「21項目の政策」のうち、あなたが、今後、もっと力を入れるべきと思う政策を5つ選んでください。(P.55～59)

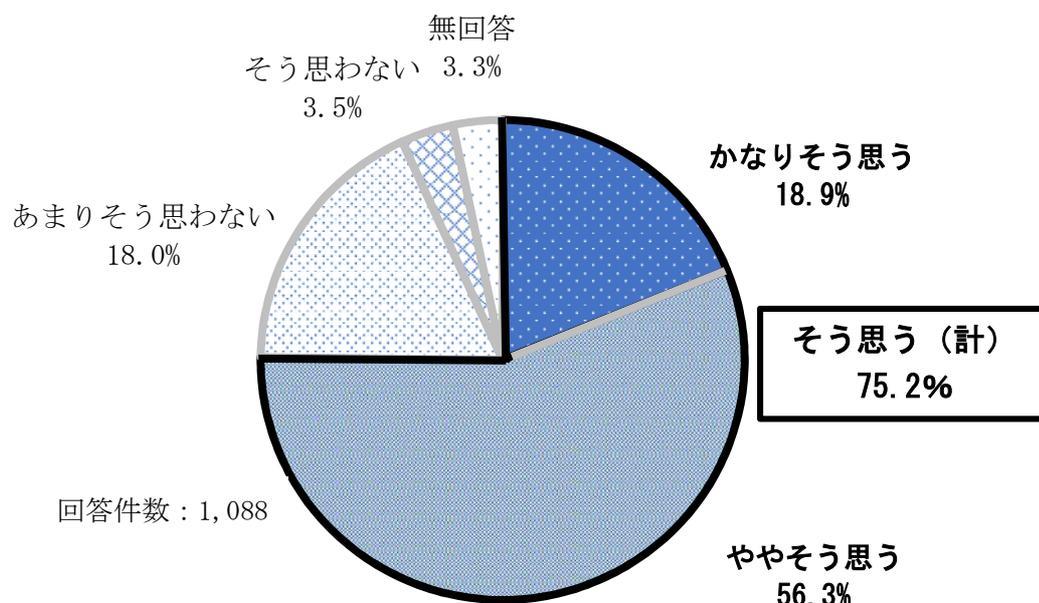
「⑫ 保健・医療・介護の充実」(35.2%)が最も高く、次いで「⑱ 生活基盤の確保」(34.0%)、「㉑ 防災対策の推進」(30.4%)

もっと力を入れるべき政策 (%)



問40に係る他自治体等の類似調査の事例について

問40 普段の生活の中で、「人のつながり」や「人の温もり」を感じることはあると思いますか。(P.115)



■ 他自治体の類似調査の事例(中国・四国地方8県の中で鳥取県のみ類似調査の事例あり)

鳥取県 令和4年度 「鳥取県の政策に関する県民意識調査」

【調査時期】 令和4年6月

【調査方法】 郵送による調査票送付、郵送またはインターネットによる回答

【調査対象】 鳥取県内在住の18歳以上の75歳未満の者 3,000人

有効回収数 1,760 (回収率58.7%)

問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。

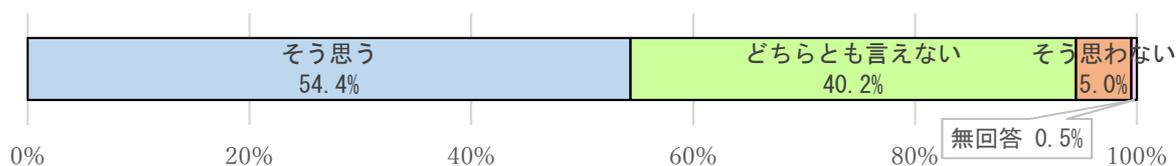
項目ごとにいずれかに○を記入してください。

※10項目について「思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」から1つ選択

※ P9 (参考) 参照

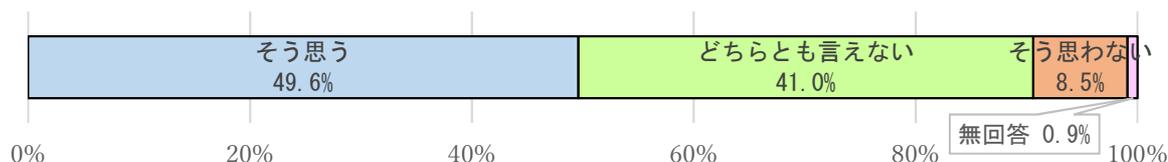
・「住んでいる住民(県民)が親切である」について

「そう思う」と回答した方の割合が **54.4%** (10項目の中で**3番目**に高い)



・「地域での人と人とのつながりがある」について

「そう思う」と回答した方の割合が **49.6%** (10項目の中で**4番目**に高い)



■ 国の類似調査の事例

内閣府 令和2年度「地域社会の暮らしに関する世論調査」

【調査時期】 令和2年10月

【調査方法】 郵送法

【調査対象】 全国18歳以上の日本国籍を有する者

(a) 人口20万人未満の市及び町村に居住する者 4,200人

有効回収数 2,751(回収率65.5%) (以下「人口20万人未満」)

(b) 人口20万人以上の市(東京都区部を含む)に居住する者 1,800人

有効回収数 1,155(回収率64.2%) (以下「人口20万人以上」)

問2 あなたは、お住まいの地域での暮らしについて、満足していることはありますか。(〇はいくつでも)

※「その他」を含む13項目から選択

※ P10 (参考) 参照

「地域の人々のつながり」について、

(a) 人口20万人未満では「満足している」と回答した方の割合が **31.6%**

「その他」を含む13項目の中で**5番目**に高い

(b) 人口20万人以上では「満足している」と回答した方の割合が **19.3%**

「その他」を含む13項目の中で**9番目**に高い

※「鳥取県の政策に関する県民意識調査 結果報告書(令和4年6月調査) 令和4年10月 鳥取県」より抜粋

問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。 項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

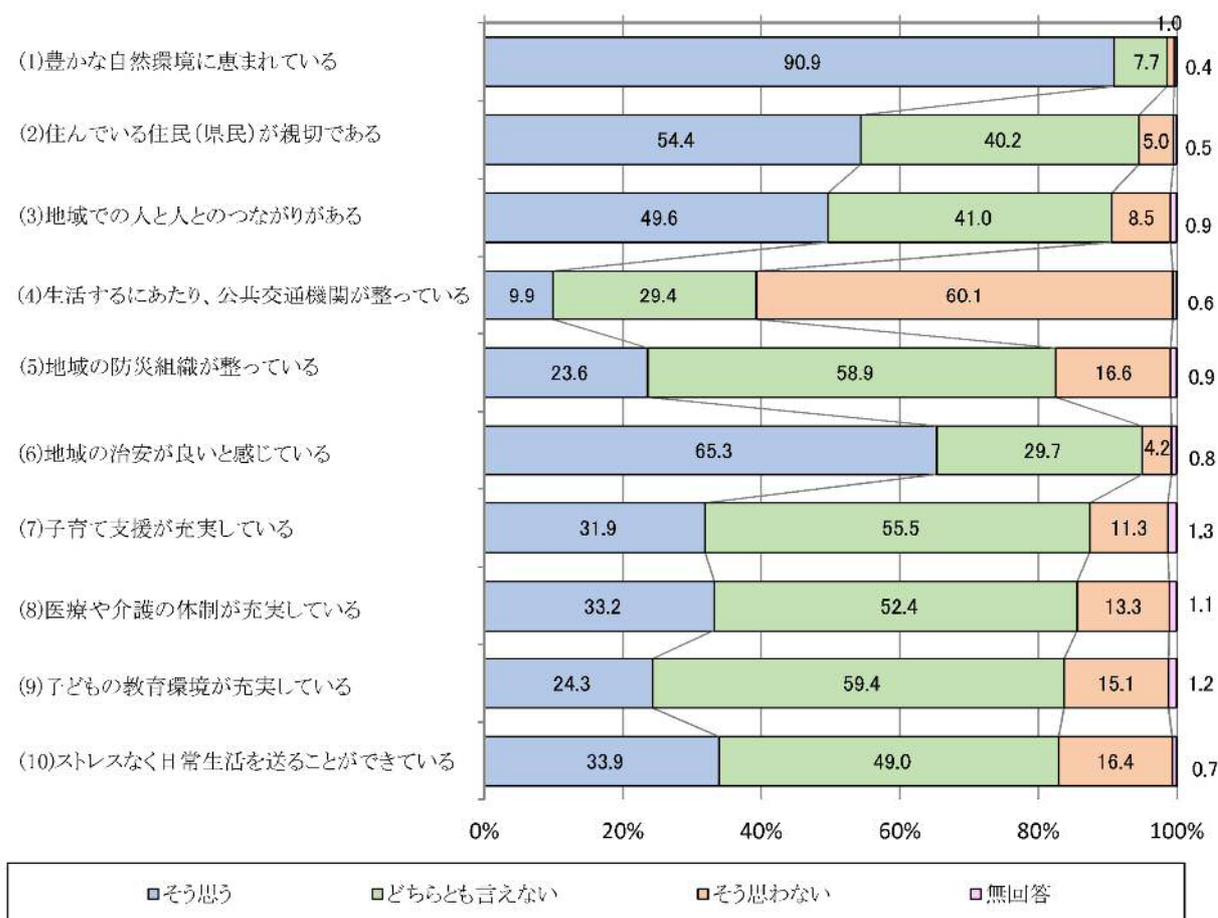
鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.9%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.3%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.4%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.6%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が60.1%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が16.6%、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が16.4%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は概ね5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。

一方、「子育て支援が充実している」「ストレスなく日常生活を送ることができる」について、令和4年度はよく感じる(そう思う)は前年度に比べ、5ポイント以上減少している。また、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は1割台で推移していたが、4年度は1割に達していない。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,760)



※ 『地域社会の暮らしに関する世論調査』の概要 令和3年2月 内閣府広報室』より抜粋

(2) 地域での暮らしに満足していること

問2 あなたは、お住まいの地域での暮らしについて、満足していることはありますか。
(〇はいくつでも)

令和2年10月

(a) 人口20万人未満（上位5項目）

・日常的な買い物のしやすさ	47.7%
・家族が同居又は近い場所に住んでいること	47.0%
・住環境の良さ	42.3%
・親戚・友人が近い場所に住んでいること	33.4%
・地域の人々のつながり	31.6%

(b) 人口20万人以上（上位4項目）

・日常的な買い物のしやすさ	62.5%
・住環境の良さ	48.7%
・公共交通機関の利便性	44.5%
・家族が同居又は近い場所に住んでいること	43.7%

(複数回答)

(%)

